

会計年度任用短時間勤務職員日額報酬表(1)

号級	日額報酬	勤務1時間当たりの報酬額
	円	円
1	7,001	1,273
2	7,045	1,281
3	7,095	1,290
4	7,139	1,298
5	7,177	1,305
6	7,221	1,313
7	7,265	1,321
8	7,309	1,329
9	7,353	1,337
10	7,419	1,349
11	7,485	1,361
12	7,551	1,373
13	7,617	1,385
14	7,683	1,397
15	7,749	1,409
16	7,815	1,421
17	7,876	1,432
18	7,942	1,444
19	8,008	1,456
20	8,074	1,468
21	8,134	1,479
22	8,206	1,492
23	8,277	1,505
24	8,349	1,518
25	8,415	1,530
26	8,470	1,540
27	8,525	1,550
28	8,580	1,560
29	8,629	1,569
30	8,673	1,577
31	8,712	1,584
32	8,750	1,591
33	8,794	1,599
34	8,833	1,606

35	8,877	1,614
36	8,915	1,621
37	8,954	1,628
38	8,992	1,635
39	9,031	1,642
40	9,069	1,649
41	9,102	1,655
42	9,135	1,661
43	9,168	1,667
44	9,196	1,672
45	9,223	1,677
46	9,251	1,682
47	9,278	1,687
48	9,306	1,692
49	9,333	1,697
50	9,355	1,701
51	9,377	1,705
52	9,399	1,709
53	9,410	1,711
54	9,432	1,715
55	9,454	1,719
56	9,465	1,721
57	9,482	1,724
58	9,504	1,728
59	9,520	1,731
60	9,537	1,734
61	9,548	1,736
62	9,570	1,740
63	9,592	1,744
64	9,603	1,746
65	9,619	1,749

備考 この表における日額報酬の額は、1日の勤務時間の割り振りが5時間30分の場合の額とし、1日の勤務時間の割り振りが5時間30分でない場合の日額報酬の額は、その所定勤務時間の時間数にこの表に定める勤務1時間当たりの報酬の額を乗じて得た額(1円未満の端数が生じたときは、その端数は切り捨てる。ただし、勤務1時間当たりの報酬の額が相模原市公契約条例(平成23年相模原市条例第29号)第6条に規定する労働報酬下限額と同額の場合は、その端数を1円に切り上げる。)とする。

経験反映の内容

前年度以前に同一の職(他の任命権者が設置する同等の職を含む。)に任用された期間がある場合は、直前の過去の任用期間が属する会計年度における過去の任用期間の勤務時間数に応じ、直前の過去の任用期間におけるその者の号給の号数に加えて得た数(初任給基準号給の号数に8を加えて得た数を超えるときは、8を加えて得た数)を号数とする号給とする。

反映号給数	4号給	3号給	2号給	1号級
勤務時間	1,204時間以上	903時間以上 1,204時間未満	602時間以上 903時間未満	301時間以上 602時間未満

- ※ 1 会計年度の勤務時間に応じた号給数を反映する。
- ※ 勤務時間とは、休職、停職、育児休業、育児部分休業、欠勤以外の時間
- ※ 懲戒処分があった場合は、勤務時間にかかわらず次のとおりとする。
  - ・ 減給(処分の対象となった事案の程度が軽微の場合)又は戒告の処分を受けた場合  
1号給(勤務時間が301時間未満の場合は0号給)
  - ・ 停職、減給(処分の対象となった事案の程度が軽微のものを除く。)又は戒告(処分の対象となった事案の程度が著しい場合に限る。)の処分を受けた場合 0号給
- ※ 欠勤があった場合は、勤務時間にかかわらず次のとおりとする。
  - ・ 勤務を欠いた日数が5日以上10日未満である場合 1号給(勤務時間が301時間未満の場合は0号給)
  - ・ 勤務を欠いた日数が10日以上である場合 0
- ※ 時間で欠勤した場合、その回数が3回に達するごとに1日として取り扱う。